

トーセロスリッター(株) 野木事業所

所在地 野木町大字野木 142-1 従業員数 27名
 事業所 本社(野木事業所内)、古河事業所、茨城事業所、浜北事業所、関西事業所
【主な事業内容】食品包装用フィルムの裁断加工

当社は1993年(有)ひまわり興産として設立され、1998年野木町に移転してまいりました。同時に三井化学東セロ株のグループ会社として、現在のトーセロスリッター(株)に社名変更いたしました。

業務内容は、三井化学東セロ株の工場生産されたプラスチックフィルムを、各お客様のご要望に合わせたサイズに裁断加工する業務が主です。出荷された製品は、コンバーターメーカー様にて印刷、張り合わせや袋状に加工されたのち、食品を包装した状態でスーパーやコンビニに並びます。また、最近では食品包装以外の用途で、工業用製品の製造にかかわるフィルムも増加してまいりました。一例を申し上げますと、携帯、スマホ、パソコン等の製品です。

以上申し上げましたように、弊社は日常皆様が手にしております数々の製品にかかわっております。弊社は三井化学東セログループの一員として、より一層社会のお役にたてるよう、野木町とともに成長する所存です。



当社が裁断加工した製品の一例

《社員のひとこと》

弊社は『安全第一・品質第二・生産第三』を会社基本方針とし、日々の業務を行っております。私どもの裁断加工致しましたプラスチックフィルムが、様々な形で消費者の皆様のお手元に安心で安全にお届けできますよう従業員一同、一層精進して参ります。
 (業務課 青木 ゆかり)

広報連絡委員レポートNo.372

学び・体験・交流の場
「ホフマン館」

広報連絡委員

小関 良枝



「水と緑と花の町」野木町に「歴史」が加わりました。昭和54年に国の重要文化財に指定され、平成19年に近代化産業遺産に認定された煉瓦窯の修復・改修工事が終了し、一般公開が開始されたのです。

平成28年5月10日(火)にグラウンドオープン。併せて記念イベントが11、12日に行われました。また、煉瓦窯に隣接して町交流センター「野木ホフマン館」が建設されました。平成29年2月末現在、来館者は4万9373人、見学者は2万1565人(ホフマン館調べ)になっています。

「野木ホフマン館」は、観光と学習、地域振興の拠点となることを目指しているようです。いろいろなことを学び、体験し、地域の人々がコミュニケーションのとれる場にするにはどうしたらよいか。ホフマン館の有効利用は私たちの町民の考え、

行動にかかってくると思います。野木町は多くの人の努力と協力で「ひまわり」が有名になってきました。次は「ホフマン館」という言葉が続いてほしいと私は思っています。子どもも若者も高齢者も楽しめて、交流が深められる場になるよう、みなさんで知恵を出し合ひましょう。

平成29年5月にはオープン1周年記念イベントが企画されているようです。まだホフマン館に行かれていない方は、ぜひ足を運びにいられたらいいかたでしょう。

バンブーキャンドルづくり
(煉瓦窯冬フェスタにて)

